

令和5年度 八丈町立富士中学校キャリア教育全体計画

東京都八丈島八丈町立富士中学校

○ 日本国憲法 ○ 教育基本法 ○ 学校教育法
 ○ 学習指導要領
 ○ 中学校キャリア教育の手引き
 ○ 東京都教育委員会の教育目標及び基本指針2
 * 「互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間」「社会の一員として、社会に貢献しようとする人間」「自ら学び行動する、個性と創造力豊かな人間」の育成に向けた教育を重視する。
 * グローバル化と情報技術革命が進む東京にあって、国際社会に生き、社会の変化に対応できるように、子どもたち一人一人の思考力、判断力、表現力などの資質・能力を育成することが求められる。そのために、基礎的な学力の向上を図り、子どもたちの個性と創造性を伸ばす教育を重視するとともに、国際社会に生きる日本人を育成する教育を推進する。
 ○ 八丈町教育委員会の教育目標及び基本方針2
 「豊かな個性」と「創造力」の伸長
 子どもたちが社会の変化に対応できるように、一人一人の思考力、判断力、表現力などの資質・能力を育成することが求められる。そのため、基礎的な学力の定着を図り、子どもたちの個性と創造性を伸ばす教育を重視、するとともに、地域の特性を活かした特色のある教育を推進する。

学校の教育目標

人権尊重の精神を基調として知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成をするため、次の教育目標を設定する。

**自ら進んで学ぶ生徒
 人や自然を愛する生徒
 健康でねばり強い生徒**

○ 学校、地域の実態
 * 島しょへき地にあり、歴史と自然が豊かである。
 * 地域住民は、人情豊かで学校に協力的である。
 ○ 地域の期待や願い
 * 地域に根ざした学校教育が望まれている。
 ○ 保護者の期待や願い
 * 将来、島内外での生活ができるための確かな学力を身に付けること。
 * 自ら進路選択ができる人。
 ○ 目指す学校像
 * 生徒にとって「安全で楽しく、明日が待たれる学校」
 * 保護者にとって「安心と信頼を持って子どもを登校させることのできる学校」
 * 地域と「共に歩み協力を得られる学校」

目指す生徒像

教育目標を目指す生徒像とする

**自ら進んで学ぶ生徒
 人や自然を愛する生徒
 健康でねばり強い生徒**

生徒の実態把握

素直な生徒が多く、落ち着いた態度で学習を進めることができる。しかし、卒業生のほとんどの者が島内の学校に進学するため、進路についての目標意識が希薄な面がみられる。島しょ部という地域性から広く社会と関わり合うことが難しい。大きな社会的視野と適切な職業観、また、自己実現のための資質の向上を図り、将来を見据えた進路選択を実現できるよう指導を実施する。

キャリア教育の目標

- ・ 自己の個性を理解し、自立意識の涵養と豊かな人間性を育成する。
- ・ 将来、社会人・職業人として自立し、時代の変化に柔軟に対応できる、必要な意欲・態度や能力を身に付ける。
- ・ 働くことの意義を理解し、興味・関心等に基づいた職業観・勤労観を身に付ける。
- ・ 自らの進路計画を立案し、適切な進路選択ができる。

育成すべき4の能力や態度（基礎的・汎用能力）と18の観点			
人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の役割を果たしつつ他者と協力して社会に参画することのできる力	自分と社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情のためにすすんで学ぼうとする力	仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力	「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて、「働くこと」を位置付け、多様な生き方について自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力
要素	要素	要素	要素
○ 他者の個性を理解する力 ○ 他者に働きかけられる力 ○ コミュニケーションスキル ○ チームワーク ○ リーダーシップ	○ 自己の役割の理解 ○ 前向きに考える力 ○ 忍耐力 ○ 自己の動機付け ○ 主体的行動 ○ ストレスマネジメント	○ 情報の理解、選択、処理など ○ 情報の本質理解・原因の追及 ○ 課題発見 ○ 計画立案 ○ 実行力 ○ 評価改善	○ 学ぶこと、働くことの意義や役割の理解 ○ 多様性の理解 ○ 将来設計・選択・行動
観点	観点	観点	観点
① 夢や希望を実現するための課題発見と解決 ② 自己実現に向けた継続的な努力 ③ 自己受容と他者受容 ④ 好ましい人間関係を作るコミュニケーション ⑤ 集団活動の円滑化	⑥ 自分の理解 ⑦ 自分の生き方、将来への関心・意欲・態度 ⑧ 自己能力の伸長と価値観の育成	⑨ メディアを活用した情報収集 ⑩ 自分の進路に合わせた情報の評価・選択 ⑪ 情報の発信・活用	⑫ 生活上の役割の把握 ⑬ 学ぶ目的や意義の理解 ⑭ 望ましい職業観・勤労観 ⑮ 設計の必要性の理解 ⑯ 計画の作成・見直し・修正 ⑰ 悩みや葛藤を解決するプロセス ⑱ 進路選択の自己責任

各学年の重点目標		
第1学年	第2学年	第3学年
自己理解（自分を知る） ○ 中学校生活に希望をもち、学校生活の中で何事にも積極的に取り組む態度を養う。 ○ 自己の個性を理解し、他人との違いに気づき、他を尊重する態度を養う。	自己啓発（社会を知る） ○ 中堅学年として有意義な中学校生活の送り方を考える。 ○ 自己の適性を知り、職場体験などの活動を通じて望ましい職業観や勤労観を育成する。	自己実現（進路を選択する） ○ 自己の能力・適性についてよく考え、適切な進路を主体的に選択できる力を身に付けさせる。

総合的な学習の時間（社会と生きる・地域と生きる・人と共に生きる・21世紀を生きる・ふるさと貢献）		
自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく課題を解決する資質や能力を育てる。 学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的・創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方考えることができるようにする。		
第1学年	第2学年	第3学年
○ 体験学習【社会】【ふるさと】 ○ 読み聞かせ【人】 ○ 職業調べ・発表【社会】	○ 職場体験学習【社会】【ふるさと】 ○ 体験学習（生き方学習・平和学習）【地域】 ○ 日本の歴史を知る（修学旅行）【社会】	○ 修学旅行（平和学習）【社会】 ○ 上級学校調べ・訪問・発表【社会】 ○ 福祉学習・ボランティア【人】【ふるさと】



各領域等におけるキャリア教育との関連及び指導ポイント

各教科(上段：関連下段：指導ポイント)	
国語	適切に表現し正確に理解する能力及び伝え合う能力の育成 ○ 話すこと聞くこと、書くこと、読むことの言語活動を通じて、言葉で伝え合う力を高める。(スピーチ、文章の発表) ○ 思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語文化への関心を深める。
社会	個人と社会との関わりを深め、現代社会についての見方や考え方の基礎を形成 ○ 社会の諸課題、資料などを活用・分析し、歴史的思考力や地理的な見方や考え方ができる基礎力を高める。 ○ 社会の成り立ち、仕組みを理解し、人間としての在り方・生き方についての自覚を高める。 (身近な地域の調査、私たちと経済、国際社会の諸問題)
数学	数学のよさを実感し、活用して考えたり判断したりしようとする態度の育成 ○ 数学を学習することの意義や数学の必要性などを実感する機会を設定する。 ○ 数学の積極的な活用。(言語活動、計算、図形、関数)
理科	科学技術の発展と人間生活の関わり ○ 理科の学習内容が様々な職業と関連していることを示す。 ○ 科学技術が日常生活や社会との関連、安全性の向上に役立っていることに触れる。 (自然と人間・食物連鎖、環境保全 科学技術と人間・エネルギーなど)
音楽	音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度の育成 ○ 音楽と生活や社会のかかわりを実感できるような指導の充実。 ○ 音楽の様々な活動を通して、音楽を生活に取り入れて明るく豊かな社会生活を送ることのできる態度の育成。 (表現(歌唱・器楽)・合唱(声部の役割)、和楽器演奏、リコーダーアンサンブル、鑑賞など)
美術	生活を楽しく豊かにする美術の働きについての理解 ○ 生活や社会との関わりから造形的な見方や考え方を高める。 ○ つくり出す喜びを味わい、生活や社会を豊かにする態度の育成。(表現・彫刻、デザイン 鑑賞・作品の鑑賞やレポートなど)
保健体育	【保健分野】生涯を通じて健康を適切に管理し、改善していく資質や能力の育成 【体育分野】公正に取り組む、互いに協力する、自己責任を果たす、参画するなどの意欲の育成 ○ <保健分野> 健康な生活を営むために、健康の維持、疾病の予防などの知識・理解を深める。 ○ <体育分野> グループの意思決定への参画、自主的な活動への取組(球技での作戦立案・実施など)
技術・家庭	【技術分野】よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し、創造しようとする実践的な態度の育成。 【家庭分野】これからの生活を展望して、社会性をもって生活しようとする能力と態度の育成 ○ <技術分野> 工夫・創造の喜びを体験する中で、勤労観や職業観、協議する態度を身に付ける。 ○ <家庭分野> 幼児と触れ合う活動を通じて、自分の成長を振り返り、自分と家族生活との関わりについて考える。 (材料と加工の技術、生活と自立、消費生活と環境・消費者問題など)
外国語(英語)	積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成 ○ 身近な言語の使用場面や言語の働きに配慮した言語活動を行う。(言語活動、場面に応じた会話、英語の活用など)

特別活動
○ 望ましい集団生活を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。 ○ 人間としての生き方についての自覚を深め、自己に生かす能力を養う。 【学級活動】 *学校や学級における生活上の諸問題の解決、学級内の組織づくりや仕事の分担処理などの活動の実践 *個人や社会の一員としての在り方に関するものを行う。 *学業生活の充実及び将来の生き方進路の適切な選択に関するものを行う。 【生徒会活動】 *学校生活の充実改善を図る活動やボランティア活動などを行う。 【学校行事】 *勤労生産・奉仕的行事における職業や進路に関わる啓発的な体験やボランティア活動などを行う。

道徳
○ 道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養う。 ○ 道徳的価値及びそれに基づいた人間としての生き方についての自覚を深め、道徳実践力を育成する。 ○ 勤労の尊さや意義を理解するとともに、奉仕の精神をもって、公共の福祉と社会の発展に努める。

その他教育活動
○ 日常の諸活動(係活動、清掃活動、部活動など)において主体的に活動する態度を育成する。 ○ 教育相談活動を充実させ、個に応じた支援とキャリアカウンセリングを行う。 ○ 福祉教育、ボランティア活動を推奨し、思いやりの心や社会貢献の心を育てる。

キャリア教育年間指導計画作成のための方針

- 自己肯定感、達成感を得られる学習、活動の実施。
- 総合的な学習の時間における体験活動を重視し、教科領域等からの深化・補充を図る。
- 発達段階に応じた内容と活動を意図的に配列し、活動に継続性をもたせる。
- 将来に夢をもち、生活を設計できる力の育成と、適切な進路を選択できる力を育む。
- ガイダンス機能(適切な情報提供や案内・説明、活動体験、各種の援助、相談活動)の充実。
- 三年間を見通した継続的な指導計画の実施(発達段階に合わせた指導の充実)。

教職員の研修
○ キャリア教育を推進するために、先進事例を学ぶなど研修の充実を図る。 ○ 学校の教育活動全体において取組を実施のため、教職員の協働態勢の確立を図る。

学年・学級経営
○ 何事にも真剣に取り組む、常に向上心を意識し、自主的に動ける姿勢を育成する。 ○ 相手を理解し、思いやりの心をもつとともに生活のルールを守る。 ○ 学ぶことを大切に、向上心をもって努力する態度をもつ。

保護者・地域社会等との連携
○ 生徒の生活時間の多くを占める家庭や地域積極的に関わりをもち、共に連携・協力する。 ○ 八丈島の自然や風土、地場産業の特性などを生かし、活用を図る。 ○ 小学校、高等学校との連携を図り、継続した取組を行う。